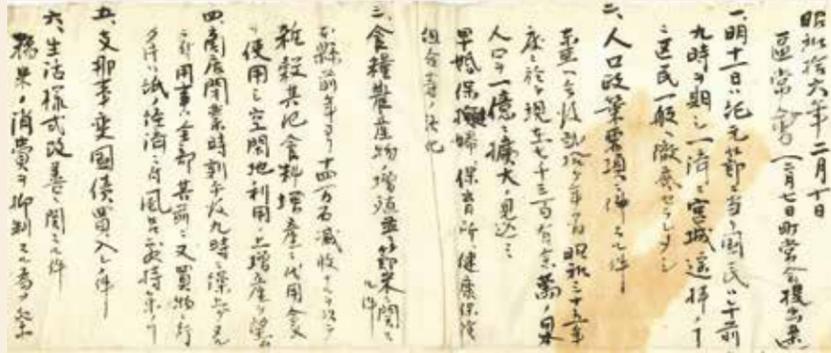


文書が映す安曇野の文化⑨ 安曇野の近現代を知る「区有文書」

文書館には各区で記録・保存されていた「区有文書」2,226点が保管されています。1873(明治6)年の大区小区制により、小区を単位とした村が設置されていきます。当時の村は、現在の安曇野市83区とほぼ重なります。近現代の庶民の生活を知るうえでこの「区有文書」は、大切な資料となっています。

写真は、1941(昭和16)年の区常会記録です。紀元節、人口政策、農産物の増殖並びに節米などが記録され、この記録を豊科町に提出することが明記されています。

現在保管されている区有文書の内訳は、上鳥羽140、上長尾145、下長尾969、住吉10、二木1、及木1、上堀8、下堀951、岩原1です。これからも区長さんと連絡を取り合い、市民の財産である「区有文書」の調査や保存を進めてまいります。



「区常会記録」昭和16年2月10日 上鳥羽区文書110

今後の企画展等の予定

●第4回バックヤードツアー

【日時】 令和5年2月26日(日)
13:30～15:00

【会場】 安曇野市文書館講義室

●令和5年度 前期企画展 安曇野市文書館開館5周年企画 「残した 伝えたこの5年」

【期間】令和5年5月7日(日)～8月31日(木)



利用案内

【開館時間】 午前9時～午後5時
【休館日】 土曜日、祝日、12月29日から1月3日
【駐車場】 約50台(堀金支所・堀金公民館・堀金図書館共用)

ACCESS

長野自動車道安曇野ICから約5km、自動車で約10分
JR大糸線豊科駅から約3km、自動車で約6分

あとがき 「安曇野市文書館条例施行規則」第3条に非現用文書(保存年限を過ぎた公文書)の文書館への受け入れについての条項があります。今年度、その条項に関する選別基準をより実情に即したものに改定しました。市役所の各課には、文書管理担当職員が配置されています。選別とは文書館へ移管される文書と廃棄される文書に選別することです。この7月、8月に文書が誤りなく選別されるように担当職員の研修会を開きました。安曇野市では、この選別を原課と文書館とのダブルチェックで行っています。平成30年10月1日開館当時5,583点の公開であった公文書も令和4年7月末現在47,404点となっています。今年度もバックヤードツアーを計画しています。移管された文書の迫力を是非ご覧ください。

安曇野市 文書館だより

第9号



後期企画展

「安曇野から平和を思う ～上原良司生誕100年～」

安曇野市は、小中高校生を含めた131点の公募をもとに、2012(平成24)年12月19日「安曇野市平和都市宣言」(以下宣言)を制定しました。宣言パネルは、2015(平成27)年11月21日に植樹された「被爆二世アオギリ」とともに、安曇野市庁舎東玄関北側に設置されています。今年、宣言制定10周年であると同時に、特攻出撃を控えた鹿児島県知覧基地で「国を愛しても、操縦桿を採る器械となつてはいけない」と記した上原良司生誕100年の年でもあります。ロシアによるウクライナ侵攻を目の当たりにしている私たちは、平和を維持することの困難さを痛感しています。上原良司が記した1943(昭和18)年からの日記や関係資料や宣言制定に向けた検討資料を通して、平和について考えてみましょう。



1945(昭和20)年4月調布飛行場搭乗機「飛燕」の左翼に座る良司

期間：令和4年9月11日(日)～12月28日(水)
会場：安曇野市文書館1階閲覧コーナー
入館料：無料

講演会 上原良春・龍男・良司 三兄弟の資料を通して見る戦時下の「自我」

【日時】 令和4年10月23日(日) 13:30～15:00
【会場】 安曇野市堀金公民館講堂
【講師】 都倉 武之 氏(慶應義塾福澤研究センター准教授)

パネルディスカッション(第19回文書館講座)「今、安曇野から平和を思う」

【日時】 令和4年11月20日(日) 13:30～15:30
【会場】 安曇野市堀金公民館講堂

基調講演

【講師】 大串 潤児氏 (信州大学人文学部教授) 【パネリスト】 ・大串 潤児氏 ・矢野 司氏(安曇野市教育委員会指導主事) ・長野県豊科高校2年生 ・安曇野市立穂高西中学校3年生

【演題】 「相手を理解すること」 ～上原良司の思想を手がかりに～

参加費 無料
事前申込 必要
申込方法 電話、FAX、メール
○講演会：8月29日から受付開始
○パネルディスカッション：10月24日から受付開始



動き出した学校連携

2022(令和4)年度に改訂された高等学校学習指導要領「日本史探究 解説」に公文書館という言葉が初出しました。

【資料の保存・保全への理解】

博物館、図書館、公文書館や資料館等の果たす役割やそこに展示・保存されている資料、地域の遺跡、景観や無形文化財などが、これまでどのように受け継がれてきたかなどの視点に着目し、「歴史資料や遺構の保存・保全などの努力が図られてきたことに気付く」ことなどを通して、文化財保護への関心を高め、地域の文化遺産を尊重する態度を養うことも重要である。

他にも【デジタル化された資料の活用】、【社会教育、生涯教育】においても、公文書館の言葉が使われています。安曇野市文書館(以下当館)では、昨年度まで学校教育と連携した取組はありませんでした。

今年度、子ども版文書館パンフレット作成や中学校・高校への出前講座を始めました。現在、小中学校では「総合的な学習の時間」、高等学校では「総合的な探究の時間」の中で、地域を学ぶ学習活動が進められています。その連携対象として、図書館や博物館等があります。その対象に当館を加えたいという願いから始まった取組です。当館には、地域に特化した歴史的資料が収蔵されています。そして、その資料は、学習活動の教材となるという確信があるからです。

お出かけ文書館

中学校生徒に向けた文書館利用ガイダンスを出前授業として実践しました。一般的なガイダンスだけでなく、各学年が探究課題としているテーマに沿ったプレゼンテーションも行いました。

- 4月27日 安曇野市立堀金中学校 2年生
- 5月16日 同上 3年生
- 7月14日 同上 1年生

生徒の感想の一部を紹介します。

1年生(学有林、SDGs)

- ・学有林の歴史・安曇野で発生した災害や事件、堀金中学校の一番古い資料や写真を見たい。
- ・一点しかない資料が破損したらどうなるのか。

2学年(キャリア教育)

- ・安曇野の昔の出来事や祖父母や両親の子どものころの出来事や山口家の古文書、穂高神社に関わりのある神社を知りたい。
- ・安曇野市にゆかりの人物や安曇野市合併の経緯を知りたい。

3学年(地域課題)

- ・堀金という地名の由来や安曇野市の各学校の歴史、レンゲ畑が減少した背景、拾ヶ堰、広域排水路を調べたい。
- ・観光客を増やす取組の歴史や特定外来種や絶滅危惧種への取組について知りたい。



堀金中学校 2年生



○6月24日 大町市立美麻小中学校 3年生



美麻小中学校 3年生

○9月1日 長野県豊科高等学校 1年生

豊科高校では、昨年度まで1学年「総合的な探究の時間」の中で、安曇野市の出前講座を活用していました。その中に今年度文書館出前講座が加わりました。講座では、右記の2点を中心に進めました。

*実践の詳細は、『令和4年度 安曇野市文書館紀要』に掲載する予定です。

子ども版パンフレット

出前講座を実施するに前の調査では、中高生だけでなく、学校の先生にも文書館の知名度が著しく低いということがわかりました。今回、講座後の評価では、64.3%の生徒が文書館のことがよくわかったと答えてくれています。先生たちからも「これから探究学習を進めていく中で文書館を利用させてもらいたい。」という言葉をかけてもらいました。現在、「子ども版パンフレット」の作成中です。ターゲットは、中学生です。一般向けのパンフレットと違い、Q&A形式の吹き出しを取り入れたり、学校生活に寄せた資料を掲載したりするなど、文書館の利用を身近に感じられるように工夫しています。9月末の完成予定です。学校以外にも図書館などにも配布しますので、ご覧ください。

3学年児童10名は、地域の産業と堰との関りについて学習をしています。その中で拾ヶ堰について調査したいということで、文書館に相談がありました。文書館には、昨年地域の方から寄贈を受け、マスコミにも大きく取り上げられた「筑摩県管轄信濃国安曇郡拾ヶ堰絵図」資料があります。堀金小学校でも学習教材として活用された資料です。この事例から収蔵資料について、資料そのものの価値の紹介だけでなく、活用事例なども公表していくことの重要性を実感しました。

- ①2023(令和5)年度に、開校100周年を迎える豊科高校の歴史資料
- ②地域の出来事トピック